PART3 宜・須・猶・由・盍

⑤ **宜＝宜（よろ）シク〜ベシ／（〜するのがよい）**

（例）

宜レ在二高位一。〔　　　　　　　〕（高い位にいるのがよい。）

宜レ従（フ）二汝（なんぢ）ノ所一レ適（ゆ）ク（ニ）矣。〔宜しく汝の適く所に従ふべし。〕（おまえが行きたいところへ行けばよい。）

＊「宜」が再読文字ではないとき＝**「むベナリ」**の読みが特に重要で**「もっともだ」**の意味。

⑥ **須＝須（すべか）ラク〜ベシ／（必ず〜する必要がある・しなければならない）**

（例）**須**レ学。〔　　　　　　　〕（　　　　　　　）

問六　次の文を、返り点に従って書き下し文にせよ。

妾ハ宜下シク以レテ身ヲ薦（すす）二メ其ノ棺槨（くわんかく）一ニ、守リ養中フ其ノ幼孤（ようこ）上ヲ。

注　棺槨…ここでは、棺桶に納められた夫のことを指す。
　　幼孤…幼い遺児。

問七　「宜二速ヤカニ改一レ之。」を書き下し文にせよ（なお、送り仮名を省いている部分がある）。

問八　「須」の意味として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　〜であろう
イ　〜するだけだ
ウ　〜することが必要だ

⑦ **猶・（由）＝猶（な）ホ・（由）（な）ホ～〔ガ・ノ〕ごとシ／（ちょうど～のようだ・と同じだ）**

- 連体形＋ガ（…過ぎたるはなほ及ば**ざる**が**ごとし**）
- 体言ノ（…春の夜の**夢の**ごとし）

（例）今之楽、**猶**二古之楽一。〔今の楽、猶ほ古の楽のごとし。〕

（今の音楽は、ちょうど昔の音楽のようだ。）

＊「猶」が再読文字ではないとき＝「なホ」と読み、「やはり・まだ・いっそう」と訳したり、「抑揚形」の文で使われたりする。

⑧ **盍＝盍（なん）ゾ～ざル／（どうして～しないのか・～すればよいではないか）**

（例）**盍**二以テレ疾ヲ辞セ一。〔盍ぞ疾を以て辞せざる。〕（どうして病気を理由にして辞退しないのか。）

問九　「盍試一思之。」のＡ　訓読とＢ　意味について、正しいものを次の中から一つずつ選べ。

Ａ　訓読

ア　けだし試みに之を一に思ふ。
イ　なんぞ試みに一たび之を思はざる。
ウ　いはんや一たび之を思ふことを試みんや。
エ　まさに一に之を思ふことを試みんとす。
オ　あに一を試みて之を思はんや。

Ｂ　意味

ア　ましてや一度はこのことを考えないことがあろうか。
イ　いったい一つのことを試してこのことを考えようか。
ウ　これからひたすらこのことを考えるのを試みてみよう。
エ　どうしてこのことを一度試みに考えてみないのか。
オ　おそらくもっぱらこのことを考えようと試みるであろう。

第5講　PART3　確認問題

① 傍線部の読みとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「過則宜レ改レ之。」

ア　すべからくこれをあらたむべし。
イ　よろしくこれをあらたむべし。
ウ　まさにこれをあらたむべし。
エ　まさにこれをあらためんとす。

② 傍線部を書き下し文にしたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「人生得意須レ尽レ歓。」

ア　須らく歓を尽すべし。
イ　須しく歓を尽すべし。
ウ　須に歓を尽さんとす。
エ　須ぞ歓を尽さざる。

③ 「猶レ免二於剪伐一。」の解釈として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　きっと切り取られるのを避けるにちがいない。
イ　切り取られることから逃れようとするだろう。
ウ　まだ切り取られずにすんだわけではないのだ。
エ　切り取られずにすんだのと同じようなことだ。

④ 「盍三各言二爾志一。」を平仮名のみの書き下し文にしたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　まさにおのおのなんぢのこころざしをいはんとす。
イ　なんぞおのおのなんぢのこころざしをいはざる。
ウ　けだしおのおのなんぢのこころざしをいふ。
エ　いまだおのおのなんぢのこころざしをいはず。

⑤ 「性猶湍水也。」を平仮名のみの書き下し文にしたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　せいはなほたんすいのごときなり。
イ　せいはまさにたんすいなるべきなり。
ウ　せいはいまだたんすいならざるなり。
エ　せいはすべからくたんすいなるべきなり。

第５講　PART3　解答

⑤〔宜しく高位に在るべし。〕

⑥〔須らく学ぶべし。〕（学ばなければならない。）

⑦〔今の楽、猶ほ古の楽のごとし。〕

問六　妾は宜しく身を以て其の棺槨に薦め、其の幼孤を守り養ふべし。

問七　宜しく速やかに之を改むべし。

問八　ウ

問九　Ａ　イ　　Ｂ　エ

第5講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

①「宜」は再読文字で、「よろシク～ベシ」と読む。よって、イが正解。

②「須」は再読文字で、書き下し文にするときには「須らく～べし」とする。よって、アが正解。

③再読文字「猶」は、「ちょうど～と同じだ」の意味。よって、エが正解。

④再読文字の「盍」は「なんゾ～ザル」と読む。よって、イが正解。

⑤再読文字「猶」は「猶ホ～（ガ・ノ）ごとシ」と読む。よって、アが正解。

〔解答〕

①イ　②ア　③エ　④イ　⑤ア